

カーボンニュートラル・サーキュラー エコノミー・ネイチャーポジティブ

菊地 淳 博士

理研環境資源科学研究センター
環境代謝分析研究チーム・チームリーダー
名古屋大学大学院生命農学研究科・客員教授



日時：2025年 9月4日（木）

16:00 – 17:30

場所：理農館SA329

産業革命以降、人類は化石燃料の燃焼やプラスチックごみの焼却で大量の炭素源を地下から大気中へ放出し続け、その炭素量は毎年95億トンに上るため、プラネタリーバウンダリーを超越した気候変動や生物多様性減少が問題視されている。このうちグリーンカーボンやブルーカーボン等を経て、51億トンの炭素が大気中に残留するものの、森林などに固定された炭素源も微生物分解などを経て9億トンが河口流出し、海藻類が「海の揺り籠」となる沿岸生態系のネイチャーポジティブ構築に関わる。我々は愛知県内の企業様らとカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミー構築に関わる産学連携を推進しつつ、下水道ブルーカーボン構想など、農業・都市排水のN/P資源による沿岸ネイチャーポジティブ化も地域漁業者らとの意見交換を始動しており、その現状と将来構想を紹介したい。

